

2015年3月27日

各位

積水ハウス株式会社

代表取締役社長：阿部 俊則

本社：大阪市北区大淀中1-1-88

歴史と文化を継承し、まちのにぎわいを創出 劇場・店舗・分譲マンションの複合開発 「(仮称)栄一丁目御園座共同ビル計画」着工

積水ハウス株式会社は、「(仮称)栄一丁目御園座共同ビル計画」(名古屋市中区)の建物本体工事を、4月1日より着工します。

積水ハウスが事業主となり、名古屋の芸能・文化を継承する新たな「御園座」と商業施設、304世帯が暮らす積水ハウスの分譲マンション「グランドメゾン」として生まれ変わります。

計画地のある名古屋の中心市街地の伏見地区は、「御園座」の他にも多数の文化施設が立地する名古屋の演劇芸能・文化の拠点となっています。「御園座」は1896年(明治29年)の開業以来、「芸どころ名古屋」を象徴する劇場として親しまれてきました。

「(仮称)栄一丁目御園座共同ビル計画」は、建築家・東京大学教授の隈研吾氏が監修し、名古屋の歴史と文化を継承しながら、新たな機能を備えた「御園座」と商業施設、分譲マンション「グランドメゾン」の複合開発とすることで、周辺地域も活性化し、まちのにぎわい創出を目指します。

名古屋市総合設計制度を活用し、公開空地にベンチやポケットパークなどの憩いの空間を設け、劇場部分の外装は「なまこ壁」のデザインを取り入れ、「御園座」のイメージを踏襲しながら、周辺の景観に配慮した計画としています。

建物は地上40階地下1階建、高さ約150mの制振構造とし、2階から4階の「御園座」には、歌舞伎の他、ミュージカル等の新たな演目を可能とする機能を備え、幅広い年代を集客し、観劇文化の裾野を広げます。また、建物1階の東面と南面には、商業店舗を配し、2階には演劇情報の発信拠点として中部地区唯一の演劇専門図書館「演劇図書館」を設置し、歌舞伎の絵番付や隈取り、芝居台本など古典芸能の貴重な資料を展示、公開します。

5階～40階のマンション部分は名古屋駅から地下鉄でひと駅の「伏見駅」から徒歩1分という都心の利便性と超高層の眺望、高断熱仕様や共用部の太陽光発電などの省エネ仕様・設備を備え、多様な間取りを設定することで、子どもから高齢者まで、誰もが住まいやすい安全・安心で快適な分譲マンション「グランドメゾン」とします。

また、非常時には劇場のホワイエを「帰宅困難者一時待機スペース」として活用するなど、地域への貢献も目指します。

積水ハウスは、同計画によって名古屋の歴史・文化を継承するとともに、新たな「にぎわいのあるまち」を創出します。



外観パース(南東)



「御園座」劇場イメージ

①「御園座」～継承と発展～

歌舞伎に加え、ミュージカル等の新たな演目を可能とする機能を備え、幅広い年齢層を集客し、観劇文化の裾野を広げます。劇場の外装部は、以前の「御園座」の一部に見られた「なまこパターン」を取り入れ、街の記憶や「御園座」のイメージを継承します。

監修 隈 研吾氏 コメント



「御園座」は単なる建築ではなく、名古屋の文化、歴史の中心に位置している。その輝かしい文化的伝統を継承することが、デザインの目的であった。

以前の「御園座」のファサードを特徴づけていた「なまこパターン」を、光り輝く、光の格子に翻訳して、外観のシンボルとした。

インテリアを特徴づけていた、「御園座」独特の朱色を継承し、この朱色は外部にまで拡張され、アプローチの大階段のモチーフとなり、街路にまで浸みだしてくる。

そのようにして、「御園座」という祝祭空間の輝きとにぎわいを都市につなげ、名古屋という都市自体の活性化を目指した。

隈 研吾氏プロフィール

建築家・東京大学教授。近作に、サントリー美術館、根津美術館、浅草文化観光センター、長岡市役所アオーレ、歌舞伎座、ブザンソン芸術文化センター、FRAC マルセイユがあり、現在、国内外で多数のプロジェクトが進行中。著書は『小さな建築』（岩波新書）『建築家、走る』（新潮社）、『僕の世界』（大和書房）他、多数。



「御園座」外観／伝統的な「なまこ壁」の意匠を継承



「御園座」エントランス／朱色を基調としたアプローチ



ホワイエ／吹抜と朱色のインテリアが印象的



ホール／「御園座」の伝統と格式を受け継ぐ

■演劇図書館(2階)

中部地区唯一の演劇専門図書館。歌舞伎の絵番付(プログラム)や役者の化粧を和紙に写した隈取り、芝居の台本、文楽の義太夫のレコードなど古典芸能の貴重な資料や、最新の演劇情報を公開し、演劇文化の発展に寄与するとともに、周辺環境ににぎわいをもたらします。



展示物のイメージ

②分譲マンション「グランドメゾン」～都心居住の魅力を創出～

304戸の住戸からなる分譲マンション「グランドメゾン」は、2LDK～4LDKまで多様な間取りを設定し、60㎡台のコンパクトなプランから、30階以上の高層階は100㎡以上、39、40階の最上層には200㎡以上のプランを設けるなど、住まい手のライフスタイルに応じた住環境を提供します。

「伏見駅」近くの利便性と超高層の眺望をいかした計画とすることで、都心居住の魅力を創出し、また、制振構造の建物と共用部分の「防災備蓄倉庫」で災害に備える、安全・安心な暮らしを提供します。

エントランスから各住戸までの経路をバリアフリーとし、子供から高齢者まで、誰もが住まいやすく、快適な住宅を供給し、名古屋市が提唱する「駅そば生活」を推進させ、伏見地区の人口増加を図ります。

2015年秋からの販売開始を予定しています。



マンションエントランス／劇場とは異なる意匠の独立したファサード



約150mの高さを活かした眺望と利便性を備える

■充実した共用施設と共用サービス

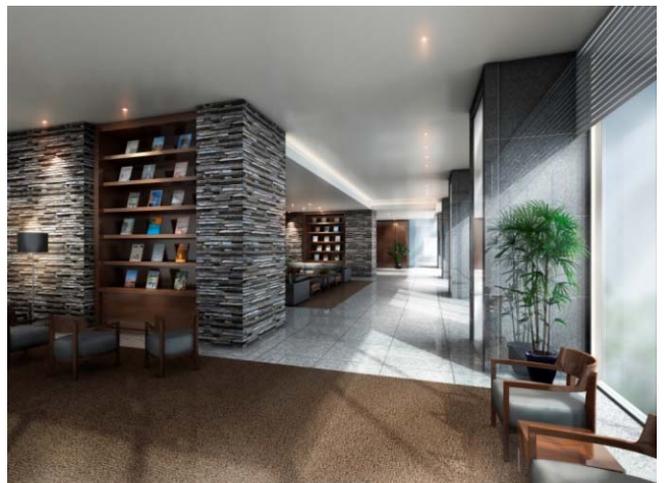
多様なライフスタイルに対応した充実の共用施設・サービスを提供します。

マンションへのアクセスには、建物南側のグランドエントランスに加え、地下鉄駅に近いサブエントランスも設け、利便性に配慮した計画としています。

6階にはロビー・ラウンジを配置し、オーナーとゲストをお出迎えするに相応しい迎賓の場としての設えを随所に施しています。またコンシェルジュカウンターを備え、オーナーの様々なご要望にお応えするフロントサービスをご用意いたします。

雄大な眺めが望める22階には、スイートルーム感覚でパーティーなどがお楽しみいただけるスカイスイートを設けるほか、ご親戚やご友人がお泊まりいただける和洋2タイプのゲストルームを7階に設けています。

さらに、毎日の安心・安全を守るため、24時間有人管理を採用し、マンションオーナーご家族の暮らしを見守ります。



6階ラウンジ／陽光が降り注ぐゆとりに満ちた空間



1階グランドエントランス／迎賓空間としての風格ある佇まい



22階スカイスイート／夜景を見ながらのパーティーが楽しめるほか、ベッドルームを備えているため、ゲストルームとしての宿泊も可能です。

③建物・計画の特徴～環境配慮、防災、バリアフリー化～

「御園座」と商業店舗、304世帯の大規模分譲マンションの複合開発で、文化施設が集積する伏見地区のにぎわいを創出します。伏見通り・御園通りの歩道部分に公開空地を設けて緑地やベンチ、ポケットパークを配置し、憩いのスペースを提供するとともに、伏見地区の回遊性を誘発します。また、建物の環境配慮、防災、バリアフリー化に取り組んでいます。

■環境配慮・緑化

建物は高断熱仕様とし、共用部に太陽光発電などを取り入れ、敷地周辺の街路や屋上の緑地化により、敷地面積の約24%を緑化スペースとします。また、透水性舗装を用いた外構計画や地下の雨水貯留槽の設置により雨水流出を抑制します。

■防災～非常時帰宅困難者一時待機スペースの確保～

災害時には帰宅困難者に対して、劇場のホワイエ部分を、約100人以上の「帰宅困難者一時待機スペース」として開放します。ポータブル発電機、ポータブルトイレ、救急セット等の防災用品と非常食を備えた「防災備蓄倉庫」を設けます。

■バリアフリー化

ホール客席には車椅子席を設け、ホワイエには車椅子対応トイレを設置。客席の一部には、難聴者集団補聴装置を設置します。また、店舗・劇場用タワーパークの2台分を車椅子対応仕様とします。

■建築概要

- 物件名 : (仮称)栄一丁目御園座共同ビル計画
- 事業主 : 積水ハウス株式会社
- 監修 : 株式会社隈研吾建築都市設計事務所
- 設計・施工 : 鹿島建設株式会社
- 所在地 : 名古屋市中区栄一丁目602番3他
- 交通 : 地下鉄東山線「伏見」駅 徒歩1分
- 敷地面積 : 4,831.90㎡
- 建築面積 : 3,641.04㎡
- 延床面積 : 56,128.96㎡
- 構造規模 : 鉄筋コンクリート造 地上40階地下1階建(制振構造・一部鉄骨造)、高さ約150m
- 建物用途 : 劇場/※1,298席、店舗/※1区画、分譲マンション/※304戸、駐車場 (※予定)
- 工事期間 : 2015年4月1日～2017年12月竣工、2018年1月引渡し(予定)
- マンション販売 : 2015年秋～(予定)